

事業計画書

事業名	エリマネコンペ2018 in 沼津
実施場所	プラサヴェルデ (予定)
実施予定期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>(目的) まちづくりに関する「エリアマネジメント」という手法の学習を通じ、市民ひとりひとりのまちづくりについての基礎体力づくりと、共にまちのことを考え、共に学んだという仲間意識と繋がりを紡いでいくこと。継続事業として数年後に社会実験的に沼津市の特定のエリアのマネジメント事業を実行することを視野に、本年度は思考実験としてのコンペを行う。</p> <p>(事業概要) 沼津市の任意の会場でエリアマネジメントに関するコンペを行い、優勝を決定する。コンペ参加者には、最初に、エリアマネジメントに関する基礎的な講義を受けていただく。その後、チームごとに沼津市の具体的な地域のエリアマネジメントに関するアイデアを固め、最終的にコンペを行い、優勝を決める。</p>
平成30年4月	<p>エリアマネジメント研究会定例会(月に1回程度開催/本事業についての会議の他、現行の計画・指針(都市マス・リノベガイドライン・立地適正化計画等)の学習会/WSを行い、人材育成を図る。)</p>
平成30年5月	<p>告知・募集の開始</p> <p>広報ぬまづ、SNSを活用するほか、自治会への回覧、商連へのプレゼンなども行い、最初から各地域の当事者(地権者・商業者・自治会関係者・学生など)を巻き込むことを視野に、告知活動を行い、広く市民を募集する。地域ごとのチームでの参加を推奨し、単独での参加者は運営側で事前登録に基づき予めチーム分けして参加していただく。また、行政担当者が参加することで法的規制や使用可能な補助金・制度を助言していただく。東京の全国エリアマネジメントネットワークからファシリテーター的な人材の派遣を依頼し、助言をいただく。これにより、全国的に沼津の取り組みが注目されうる。</p>
平成30年6月	<p>開会式(基本講義①) エリアマネジメントに関する基礎的な知識・成功例を参加者に学んでいただく。パワーポイント資料配付予定。プラサヴェルデでの開催を予定。参加者60名程度 スタッフ20名程度配置予定。</p>
平成30年7月	<p>講演会(基本講義②) エリアマネジメントを実践している地域から講師を呼び、組織化・意見の集約の仕方を行う。(基本講義③) ファンド、クラウドファンディングの手法の講義等も含め、財務面に関する簡単な説明を行う。パワーポイント資料配付予定。プラサヴェルデでの開催を予定。参加者60名程度 スタッフ20名程度配置予定。</p>
平成30年10月	<p>コンペ本番。審査員については、東京の全国エリアマネジメントネットワ</p>

平成30年10月 ～平成30年1月	<p>ークのトップの方々や、学識経験者、市長等に要請する。プラサヴェルデでの開催を予定。参加者60名程度スタッフ20名程度配置予定。</p> <p>実行性を高めるために参加チームの事業には、本会、およびスタッフは全力で関与する。また、コンペ賞金をクラウドファンディング等で応募し実行資金とする。(一例として、サイバーエージェント社のクラウドファンディングの募集期間として3ヶ月程度を要するため、平成30年1月までとした。もっとも、事業年度をまたぐことを妨げない。)</p>
----------------------	--

◎事業効果

<p>※事業の効果を記載して下さい。 ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。</p> <p>(成果指標)</p> <p>コンペの評価基準として、当該エリアマネジメント事業の実現可能性を評価対象とする旨を明確に打ち出し、実現可能性の高い事業が上位に入賞するような設えを行う。</p> <p>優勝事業を含め実現可能性の特に高い事業に関しては上記クラウドファンディングの手法による財源確保を支援するとともに、市や商工会議所に働きかけを行い、また、SNS等も活用し出資者・協力者を募ることで、早ければ翌年、あるいは熟慮検討期間を含め数年以内に実際に遂行することを沼津市エリアマネジメント研究会として支援する。</p> <p>中期的な目標としては5年以内に最低3事業を実現することを目標とする。</p>
--

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

<p>公益性</p>	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載して下さい。</p> <p>本事業はまちづくりに関する「エリアマネジメント」という手法の学習を通じ、市民ひとりひとりのまちづくりについての基礎体力づくりと、共にまちのことを考え、共に学んだという仲間意識と繋がりを紡いでいくことを目的とした事業であり、まちづくりの推進に寄与する。</p>
<p>発展性</p>	<p>※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>優勝事業を含め実現可能性の特に高い事業に関しては早ければ翌年、あるいは熟慮検討期間を含め数年以内に実際に遂行することで、地域の発展・活性化につながる。また、市民の皆様のまちづくりについての基礎体力ができることで主体的にまちづくりに関わっていく市民が増加すること、本事業を通じて市民の皆様の中に共にまちのことを考え、共に学んだという仲間意識と繋がりを紡ぐ効果も期待できる。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。</p> <p>エリアマネジメントはまさに地域の実情・課題の解決と地域資源の活用が主となる事業である。また、告知段階で自治体・商連に広く参加を呼びかけることで、これまで思考実験的な事業で置き去りにされてきた「実際に地域に住む方々」を巻き込むかたちでのまちづくりを志向している。コンペの段階で、事業実行対象となる地域との合意形成ができているか、ないし可能かを実現可能性の一要素として評価対象とする。</p>
<p>必要性</p>	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。</p> <p>エリアマネジメントは事業自体の収益性をも視野に入れることが必須であり、エリアマネジメント事業が継続していくことで補助金に頼らない事業推進が可能になる段階が期待できるが、初期段階ではそもそも人材育成についての費用すら有志の寄付やカンパに頼らざるをえない状況である。したがって、初期段階での補助金の交付が必要である。</p>
<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。</p>	

<p>先導性</p>	<p>まちづくりに関する事業は多々あるが、みな単なる一過性のイベントに終わってしまい、実際の地域の人たちを置き去りにした事業に終始する場合がある。本事業は実際にその地域に住んでいる皆様を巻き込むことと、実現可能性、継続可能性を特に重視して事業をすすめる。</p>
<p>継続性</p>	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。</p> <p>(参加事業自体の継続性) 優勝事業を含め実現可能性の特に高い事業に関しては上記クラウドファンディングの手法による財源確保のみならず、研究会として市や商工会議所に働きかけを行い、また、SNS等も活用し出資者・協力者を募ることで、早ければ翌年、あるいは熟慮検討期間を含め数年以内に実際に遂行することを沼津市エリアマネジメント研究会として支援する。</p> <p>中期的な目標としては5年以内に最低3事業を実現することを目標とする。</p> <p>(本事業自体の継続性) 沼津市エリアマネジメント研究会は本事業と平行してエリアマネジメントに関する勉強会・研究を重ねるとともに、蓄積した知見をもって参加事業の実現に向けて助言ないし実働の支援を行う。参加事業のチームの中からも会員を募り、最終的には研究会会員の年会費収入にてコンペ事業を運営できる体制を目指す。</p>

◎特に高い公益性を有することの説明

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。

本事業はまちづくりに関する「エリアマネジメント」という手法の学習を通じ、市民ひとりひとりのまちづくりについての基礎体力づくりと、共にまちのことを考え、共に学んだという仲間意識と繋がりを紡いでいくことを目的とした事業であり、公益性を有する。そして、それだけにとどまらず、人材育成、そして行政との連携を最初から事業に組み込むことで、本事業で構築されたネットワーク・人材が本事業にとどまらず様々な形での官民協働に生かされていくことが期待できる。いわば、あらゆるまちづくり事業に関するインフラストラクチャーの構築という意味合いがあり、この応用可能性の高さをもって「特に高い公益性を有する」といえる。